

# まもる通信



活力ある地域社会と人のふれあい  
ともにいっしょに



寺田守 後援会だより

発行:寺田守後援会  
会長 鈴木昌二  
袋井市久能1810-11  
TEL:(44)1351

✉ mamorut@yr.tnc.ne.jp

vol.10  
2011.11



## 市議会報告

平成23年度9月議会定例会が、9月6日から30日まで開催され、補正予算5議案、決算認定12議案、条例の制定・改正7議案、計24議案が上程され、可決されました。

今回の議会の主な内容は、平成22年度の決算認定及び、補正予算として防災対策関連事業、台風15号被害対応予算の追加計上です。一般会計補正予算額は、合計9億2600万円となりました。

### ◎補正予算の内訳

#### 《防災関連》 3億 2269万円

【津波対策】 ..... 1億 4674万円

津波避難施設整備、避難誘導・海拔表示板設置、  
海岸監視カメラなど

【液状化対策】 ..... 880万円

液状化ゾーニングマップ作成委託

【放射能対策】 ..... 160万円

安定ヨウ素剤の購入費 72,000錠×2日分

【自主防組織強化】 ..... 3000万円

各自主防機材整備費用 補助率2/3から90%にアップ

【支部・本部強化】 ..... 1020万円

浅羽支所の機能強化、太陽光発電による携帯電話電源、  
照明確保など

【避難所改善】 ..... 5090万円

投光機付き発電機、避難所間仕切りなど

【耐震補強】 ..... 7445万円

民間住宅耐震補強への補助など



宇刈地区の蕎麦畑。

#### 《15号台風被害関連》 1億 7500万円

【災害救助費】 ..... 2500万円

住宅半壊、一部損壊 2400件への見舞金

【災害復旧費】 ..... 1億 5000万円

公共土木施設、教育施設の復旧費用

#### 《その他》

【災害支援費】 ..... 500万円

東日本大震災 災害復興支援事業「オール袋井」

【商工支援】 ..... 1700万円

地域活性化クーポン券発行 助成費

## 台風15号被害状況と対応

9月21日午後2時頃、浜松市付近に上陸した台風15号は、当市全域を暴風雨に巻き込み、大きな被害を引き起こしました。9月29日時点での被害の状況は、人的被害が重症3人を含む12人、物的被害は、住家で半壊・一部損壊が3300件余、

非住家で2500件余、この他倒木、農作物被害、商工施設、公共施設の破損など広範囲に渡りました。市は今度の台風被害への対応として1億7500万円の補正予算を組みました。



↑ 80本以上の倒木があった可睡斎。



↑ 浅羽南部で被害にあったビニールハウス。

## 浅羽南部に津波避難施設

東日本大震災を受け、急速に浮上してきているのが浅羽南部の津波避難対策です。しかし、これまで9mある海岸堤防を越える津波はないとされ、同地域には高台が殆どないことから、民間事業者とも連携し、既存の建物を利用した避難施設建設を急ぐことになりました。基準では、

- ①対象地域は海拔5m以下の地域(海岸からの距離は5km超)
- ②対象施設は避難場所で8m以上を確保、新耐震設計基準
- ③費用の負担は従業員と地域住民の避難可能人数で按分などとなっています。

対策では、外付け階段、屋上フェンス、案内板などの避難施設の建設を急ぐことになります。今回の補正予算では、8箇所分1億1800万円が計上されています。



↑ 昭和製作所

↓ 浅羽南小学校



## 現市民病院「聖隷福祉事業団」に委託

掛川袋井新病院建設に伴い現市民病院をどのように活用するか、大きな課題になっていましたが、「社会福祉法人 聖隷福祉事業団」を指定管理者とし、運営の一部を委託することが決まりました。

現市民病院には今後、「保険・医療・介護構想」に基づき、下記6つのセンターが設けられることになっています。

- ①健康指導センター②健康支援センター③外来・健診センター④回復期リハビリ病床・療養病床⑤在宅医療支援センター⑥休日夜間急患センター
- 今回の計画ではこの内、④⑤の2つを聖隷福祉事業団に委託しようとするものです。

委託されますと、総合内科的な初期治療や手術後のケア治療が可能となり、当面50床、将来的には150床の入院施設が設備されることとなります。同事業団による指定管理方式での事業委託は、浜松リハビリテーション病院でも実績があります。



◆基本理念  
キリスト教精神に基づく  
「隣人愛」

- ◆使命
- ・いのちと尊敬のために
  - ・利用される人々のために
  - ・地域社会とともに
  - ・未来を築く
  - ・最高のものを

### 聖隷福祉事業団とは

浜松市中区元城町に本社を置き、医療保険事業、福祉サービス事業などを行う福祉事業団体。1930年キリスト教徒であった故長谷川保氏が、結核患者のため治療施設を設けたのが始まり。現在1都7県で84施設を運営している。総合病院／聖隷三方ヶ原病院、聖隷浜松病院は、同団体の関連団体となっている。

## 山梨地区に消防分遣所 平成25年10月開設

当市と森町の広域消防体制は、袋井消防署を中心に南部は浅羽分署、北部は森分署の3拠点で構成されています。しかし、山梨地区は袋井・森の中間にあり、周辺の人口も1万人を超えていることから、同地区への拠点施設の建設が求められてきました。今回決定した(仮称)山梨分遣署は、「月見の里学遊館」の北側に位置し、平成25年10月に建設される計画となっています。

第2東名の掛川森ICの開業による消防エリアの拡大、また新病院開設に伴う救急搬送時間の短縮、といった今後の課題に対応するためにも、同分遣所の役割が期待されています。



(仮称) 山梨分遣署の建設予定地

## ふくろいの風景づくり計画

**質問** 当市では当市の美しい景観を維持し、発展させていくため景観形成の基本方針（平成16年から平成27年）を定めている。この中に「歴史・文化の景観」を大切にしていく方針が定められているが、常夜灯や道標など歴史的資源は保存はされているか。

**回答** 当市では、秋葉街道などの旧街道に約100基の史蹟が確認されている。今後分布図を作成し保存に努めていきたい。

**質問** 「とうもん(田面)」といった当市の田園風景を表わす、中遠地方独自の言葉も残っている。大切にする必要があると思うがどのように考えているか。

**回答** 古くから伝わる言葉を後世に伝承していくことは重要と考えており、今後進めていく眺望地点の選定や、それらの看板表記などに活かして行きたい。

◎「とうもん(田面)」とは  
今はあまり使われなくなってしまう「とうもん」という言葉は、何も遮るものがない広々とした田園の景色を表わしたものであった。「とうもん」は、「田面」が変化した言葉とも言われている。いずれ中遠地方独自の言葉ということであり、当市の特徴的な農の風景を良く表現した言葉であるといわれている。



## 浜岡原発への対応

**質問** 去る4月25日、当市は4市の市長・議長名(袋井・磐田・藤枝・焼津)で浜岡原発のEPZ(防災対策を重点的に充実すべき範囲)を現状の10kmから当市も含まれる30kmに拡大するよう緊急要請を行った。その後の進展状況はどうか。

**回答** EPZの拡大については、原子力安全委員会でも今年度中には結論を出すと言われていた。県及び関係自治体と連携し、引き続き取り組んで行きたい。

**質問** 福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、浜岡原発の被害想定を中部電力に求めていく考えはあるか。

**回答** 被害想定については、これまでの防災体制の中では示されて来ない。近隣市町、県などの関係機関と連携し、住民の安心安全のため被害想定や対応マニュアルなどについて、その作成を求めて行きたい。



## 農作物への放射能被害

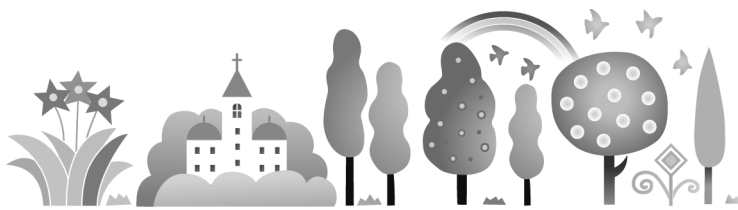
**質問** 福島第一原発の事故により、農作物への放射能汚染が心配されるが本市の影響はどうか。

**回答** 本市のお茶については、県による放射能調査で暫定規制値を大きく下回った。心配された新米についても検出されず安全性が確認された。今後も来年2月までの間、対象36品目の農作物について調査が行われる計画である。



☺みんなの力で住み良いまちをつくろう

# まちがどウオッチング



## 建設進む「袋井あそび保育園」

来年4月開園予定の「袋井あそび保育園」の建築工事が進められています。開設場所は、国道1号線バイパス北側の久能地区です。定員は0歳児から5歳児までの120人、市内でも最大規模の保育所となる予定です。運営法人は浜松市に本社がある(株)あそび学園で、右脳教育を教育方針に掲げ、働く両親に合わせて休日・夜間保育も行ないます。

連絡先:「すこやか子供課」TEL 0538-44-3157  
「袋井あそび学園」TEL 053-422-2525



建設中の袋井あそび学園

## 完成間近の浅羽記念公園

浅羽支所の前に建設されている浅羽記念公園が、完成間近となっています。記念公園は、多額の寄付を頂いた近藤健次氏の故郷への思いを尊重し、手押しポンプや足踏み水車、昔の軽便鉄道をイメージする施設など、郷愁を感じさせる舞台ともなっています。支所周辺は、公園を挟んで整備される郷土資料館、歴史文化館と共に、当市の歴史文化ゾーンとして模様替えされます。11月13日(日)浅羽ふれあい祭りにオープン予定です。



建設中の浅羽記念公園。

## 化石を公園内に展示保存

宇刈・大日地区で建設中の公園から化石の層が発見され、地域の自然遺産として公園に活かしていくことになりました。宇刈地区は約200万年前の貝化石が含まれる大日砂層があることで知られ、多くの調査研究が行われてきました。太古の昔、宇刈地区一帯は海岸線にあたり、温暖な気候だったと推測されています。公園は、今年度中には完成の予定で、自然を学習する生きた教材の場としても利用が期待されます。



市長に化石、地層を説明する  
静岡大学・延原尊美准教授。

## 市内の全部の祭屋台が北分庁舎に集合

市内にある全部の祭屋台の写真展が、9月1日から10日、北分庁舎「ギャラリーきんもくせい」で開催されました。五穀豊穡などを願う市内の祭りは、江戸・天保13年(1842年)に始められたのが最初といわれ、合併を経て今では市内に136台の屋台があると言われます。写真展では自分の町内の屋台を探す人などで賑わいました。ホームページでも市内全部の屋台を見ることが出来ます。

<http://www.tks-ele.com/matsuri/matsuri.htm> 管理人:朝比奈



## 護国塔建立100年を記念し盛大に慰霊祭

可睡斎護国塔が建立されて100年になるのを記念し、9月28日戦没者慰霊祭が200人の関係者を迎えて行われました。護国塔は、日本の建築学の創始者として知られる伊東忠太博士が設計し、建築史上価値ある建造物として県の指定文化財にもなっています。11月からは建立100年を記念する『特別展示会』が可睡斎で開かれます。



◎特別展示会の開催期間

11月3日(祝)～27日(日)【最終日にはパネルディスカッションを予定】

問合せ:「実行委員会」TEL 0538-43-7770 「可睡斎」TEL 0538-42-2121



可睡斎本堂で行われた慰霊祭(9/28)。